



うみまる通信

JCG

JAPAN COAST GUARD

海上保安庁
第十管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室

NO. 29号
平成19年9月20日

プレジャーボートの事故防止について

鹿児島、熊本及び宮崎県での過去の船舶事故のデーターを見ると、プレジャーボートの事故は、漁船に次いで二番目となっています。

プレジャーボートの事故について種類別にみると、「衝突」がトップです。

その原因は、圧倒的に「見張り不十分」が多く、7割を超えています。

港の出入り口付近など、ほかの船舶の往来が多い海域で、錨を入れ釣りをしている際、周囲を全く見ていないで、接近する漁船やほかのプレジャーボートに気づかず衝突する例や、釣りの準備・後片付けなどに気をとられ、また乗船者との会話に気を取られるなどして、十分な見張りをしなかったために、ほかの船や防波堤などに衝突する例もあります。

下の写真はその一例です。見張り不十分で、前方の防波堤に気づくのが遅れ、あわてて避けようとし、大きく舵をきり直撃は避けることはできたもの、このような状態(当時は満潮時)で乗揚げたものです。



また、「居眠り」による見張り不十分もよく見受けられます。

飲酒は論外ですが、過去には風邪薬など眠気を催す薬を飲用していたための居眠りもありました。体調不良の時、薬を飲んで運航するような危険を冒してまで釣りをすることはないでしょう。

今はテレビのほか、インターネットの普及により気象情報が以前より早く入手できるようになりました。

事前に、気象の悪化が予想されたにもかかわらず、めったに取れない長期休暇であったために、無理をして出港してしまい、大波を受け転覆してしまった例もあります。

こうした場合、大抵ほかの小型船は(当然、地元小型漁船も)出港しておらず、発見が遅れるどころか、事故発生の情報そのものが入らないおそれがあり、救助の発動が遅れることにつながります。

たとえ平穏であっても、単独行動は避け、家族や友人に「釣りをする場所・帰宅時間等」を伝え、携帯電話など確実な連絡手段を持って出港してください。

最近の事故事例で、時々目につくのが、自分の船のことをよく知らないで、一旦停止させたエンジンを再起動させることができず「機関故障」として「118番通報」があった例が複数ありました。

また、残燃料を確認することなく出港し、沖で燃料切れに陥りほかの船に救助された例もあります。

海での事故は、一旦遭遇すると「死」に直結することが多いのです。そこを考え、漠然とした「自分だけは大丈夫」という意識ではなく「自分だけは、事故を起こさない」という強い意識と信念を持ってマリンレジャーを楽しんでください。

事故を起こした方々のほとんどは「自分だけは大丈夫と思っていた」と、事故後の感想をもらしていますが、まさに後の祭りです。

このようなことを聞くと、釣りの楽しみも半減してしまうかもしれませんが、そうではなく、事故なく楽しく釣りをするための参考です。安全な釣りと大漁をお祈りします。

マリンレジャー事故発生状況(8/16~9/15)

16件の事故が発生し、5隻19名の方がかわり、4名の方が負傷、7名の方が亡くなりました。
一部を紹介しますので、他山の石とし、安全意識を高める一助とさせていただきます。

【事例1 遊泳中おぼれる】

宮崎県の加江田川河口付近で同僚6名と遊泳中、1名が浮き輪から離れ姿が見えなくなったので、「119番」に通報、間もなく防災ヘリが沖合約50mで発見、吊り上げ病院に搬送しましたが、後日亡くなってしまいました。

【教訓】原因がはっきりしませんが、大切なことは、自らの泳力を認識し、自信がなければ深いところには行かない、また準備運動をしっかりと行い、足がつるといったことのないようにしましょう。
さらに絶対単独での遊泳はしないようにしましょう。

【事例2 夜釣り中防波堤から転落】

夜10時頃、「宮崎県神戸港の防波堤に、ライフジャケット、釣り具等が放置されている」旨の通報があり、巡視船・ヘリ(海保・警察)・警察のアクアラング隊・消防等で捜索しましたが見つかりませんでした。

翌日同港の沖合で漂流遺体が発見され調査の結果、防波堤からの転落者だったことが判りました。

【教訓】24号(19.4.23)に、防波堤からの転落を予想し、対策として『救命胴衣着用 転落に備え釣れなくても魚籠を降ろしておく(落ちたらつかまる) 他の人の近くで(二人以上で)釣る』と掲載しています。

これを励行しましょう。特に、夜間の単独の釣りは絶対やめましょう。

【事例3 水上オートバイ同士衝突】

天草前島橋付近海域で、仲間同士の2隻の水上オートバイが近距離で蛇行しながら追走中、前艇の急変針に後艇がよけきれずに衝突しました。一方の操縦者が左足を負傷しました。

【教訓】前艇の急変針によけきれないほどの近距離での追走は危険極まりないことです。前の車の急ブレーキに対応できないのと同じです。

事例2と同じく、起こりうる危険を予測し、それを避ける措置を事前に講じましょう。
楽しかるべきマリンレジャーも、事故を起こし、さらにけがをしたのでは台無しです。

危険予測 について

何をするにもこれが大切!

起こるであろうことを「自分に都合の悪い方向に予測」をするのです。

これができれば、自ずとその予測を回避できるものです。

「自分の命は自分で守る」この意識をしっかりと持ちましょう。



#####

「みすみ・海の駅」の紹介

有明海、八代海、天草の島々に囲まれ、日々変わりゆく美しい大自然を楽しみながらのクルージング、また豊富な魚に恵まれ四季を通して様々なフィッシングが楽しめます。

所在地 熊本県宇城市三角町波多字郷開 2864-115

Tel 0964-48-2001 Fax 0964-48-2002

URL <http://www2.megax.ne.jp/hatamarina>

E-mail hatamarina@cen.megax.ne.jp

利用情報

営業時間 08:30~17:15

定休日 水(祝祭日の場合は翌日)

ビジターバス 約14隻(25ftクラス)

トイレ シャワー 休息室 自販機

#####

来月は「あまくさ・海の駅」の予定##

私の町 私の母港 上天草市 串漁港

【鹿児島航空基地撮影 2006.12】

